

人権と法

Human rights and Law

法学大学院提供副専攻

設置概要

法学部は、法律の専門知識を体系的に学び、法的思考力を養成することを主たる目的としています。法とは何か。この問い自体が大変難しいのですが、とりあえず、人間社会の営みを律する規範の一つとしておきましょう。もう少し具体的に、人と人との間の権利義務関係を調整するルールといってもよいです。そして、副専攻「人権と法」は、法の中でも、特に人権を保障する法の仕組みに焦点を当てるものです。

さて、皆さんは「人権」という言葉にどのようなイメージを持っているのでしょうか。昔には、人権擁護、人権侵害、といった表現があふれています。そもそも「人権」とは一体何でしょうか。「権利」と同じものでしょうか。あるいは、皆さんは日常生活を送る中で、自分には人権が保障されていると強く意識することがあるのでしょうか。あるとすれば、それはどのような場合でしょうか。また仮にないとすれば、それはなぜでしょうか。

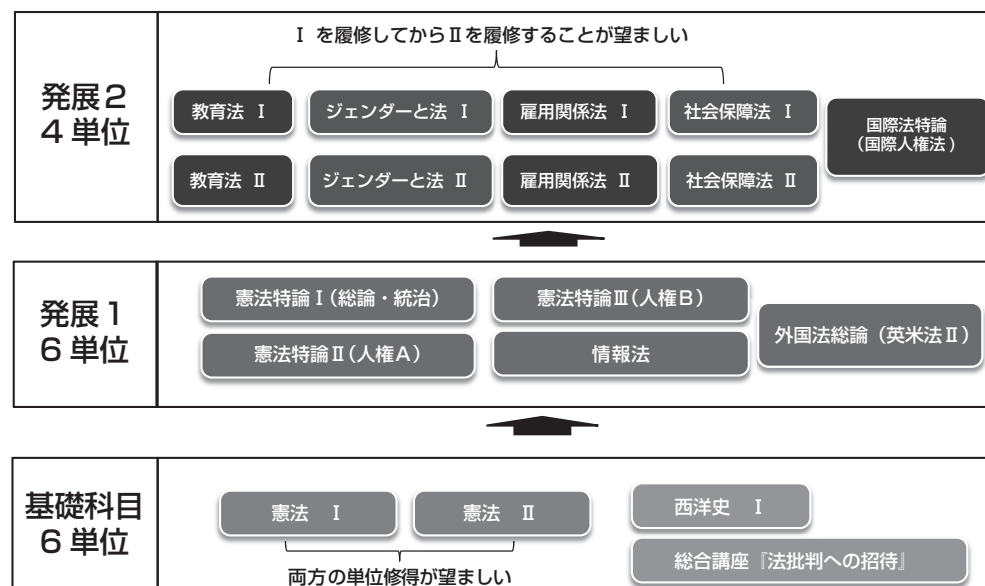
この副専攻では、憲法を中心に、幅広い分野での「人権の現在」を学んでいくことになります。まずは基礎科目において、憲法による人権保障のあり方や、人権の歴史を概観することで、「法の支配」という考え方を身につけてもらいます。引き続き、発展科目①では、外国の状況とも比較しながら、さらに理解を深め、この段階で、皆さんは人権保障についての大きな見取り図を得ることになるでしょう。発展科目②は、以上を前提に、個別具体的な場面で、現代にあっては、いかなる人権問題が存在し、法はどのように対処しているのかを、つぶさに見ていくことになります。例えば、教育格差や、移民・難民の問題、性差別やLGBTをめぐる状況、過労死やブラックバイト、年金・生活保護といったテーマは、皆さんにも馴染みのあるものではないでしょうか。

法と権利は表裏一体のものだと喝破したのはイェーリングという法学者でした（彼の『権利のための闘争』は必読書です）。また「権利の上に眠るものは保護に値せず」という有名な法格言もあります。つまり、人権保障の仕組みは、長きにわたる闘いの成果に他ならず、しかも、闘いは果てることなく続くものなのです。皆さん一人ひとりが人権享有主体なのですから、他の誰でもない、まさに自分の問題として、「人権と法」を考えてみませんか。

到達点（学習成果）

一般に、法律の学習は語学のそれに似ているといわれます。法律の用語や考え方は、単語や文法・構文にあたるものであり、そうした基礎的な知識を習得することから始めて、一步一步、積み上げてゆかねばなりません。したがって、副専攻に設置されている法律科目をつまみ食いの履修しても、真の意味で理解することは難しいでしょうし、また得るものも少ないでしょう。副専攻とはいえ、体系的に履修することが求められるゆえんです。最初は雲をつかむようで全く手応えがないかもしれませんが、けれども、知識量や理解度が一定レベルまで蓄積されると、突如として視界が開ける瞬間が訪れるはずで、このとき皆さんはリーガルマインド（法を通じて社会現象を捉えられる目）を獲得したといってもよいでしょう。法学の履修を通じて、皆さんは、それまでとはモノの見え方が、がらりと違ってくるという経験ができるはずです。

カリキュラムマップ



指定科目一覧

※備考欄の記載事項

自学部優先科目…抽選が生じた場合、科目設置学部の学生が優先的に登録される科目です。

修了必要単位

16単位（基礎科目：6単位、発展科目1：6単位、発展科目2：4単位）以上

注意事項

法学部生は「人権と法」副専攻を修了できません

本副専攻の修了を目指す学生は、指定科目を履修しないこと

★基礎科目

修了必要単位：6単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	法学	総合講座「法批判への招待」	弓削 尚子 他	1年以上	秋学期	木6時限	早稲田	2		自学部優先科目
2	法学	西洋史 I B (弓削)	弓削 尚子	1年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		自学部優先科目
3	法学	西洋史 I A (水林)	水林 章	1年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		自学部優先科目
4	法学	憲法 I A	長谷部 恭男	1年以上	春学期	月5時限	早稲田	2		自学部優先科目
5	法学	憲法 I B	中島 徹	1年以上	春学期	木3時限	早稲田	2		自学部優先科目
6	法学	憲法 I C	水島 朝穂	1年以上	春学期	金5時限	早稲田	2		自学部優先科目
7	法学	憲法 II A	長谷部 恭男	1年以上	秋学期	月5時限	早稲田	2		自学部優先科目
8	法学	憲法 II B	中島 徹	1年以上	秋学期	木3時限	早稲田	2		自学部優先科目
9	法学	憲法 II C	水島 朝穂	1年以上	秋学期	金5時限	早稲田	2		自学部優先科目

★発展科目1

修了必要単位：6単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	法学	外国法総論(英米法II) A	中村 民雄	2年以上	秋学期	水2時限	早稲田	2		自学部優先科目
2	法学	憲法特論 I (総論・統治)	中島 徹	2年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		自学部優先科目
3	法学	憲法特論 II (人権A)	江原 勝行	2年以上	春学期	水2時限	早稲田	2		自学部優先科目
4	法学	憲法特論 III (人権B)	金澤 孝	2年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		自学部優先科目
5	法学	情報法	田島 泰彦	2年以上	春学期	月3時限	早稲田	2		自学部優先科目

★発展科目2

修了必要単位：4単位

項	設置学部・センター	科目名称	担当教員名	配当年次	学期	曜日時限	キャンパス	単位	履修	備考
1	法学	ジェンダーと法 I	石田 京子	3年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		自学部優先科目
2	法学	ジェンダーと法 II	谷田川 知恵	3年以上	秋学期	金2時限	早稲田	2		自学部優先科目
3	法学	雇用関係法 I	島田 陽一	3年以上	春学期	木2時限	早稲田	2		自学部優先科目
4	法学	雇用関係法 II	島田 陽一	3年以上	秋学期	木2時限	早稲田	2		自学部優先科目
5	法学	社会保障法 I	菊池 馨実	3年以上	春学期	木4時限	早稲田	2		自学部優先科目
6	法学	社会保障法 II	菊池 馨実	3年以上	秋学期	木4時限	早稲田	2		自学部優先科目
7	法学	国際法特論(国際人権法)		3年以上			早稲田	2		2019年度休講
8	法学	教育法 I	廣澤 明	2年以上	春学期	火5時限	早稲田	2		自学部優先科目
9	法学	教育法 II	廣澤 明	2年以上	秋学期	火5時限	早稲田	2		自学部優先科目

履修を希望する学生へのメッセージ

他学部の皆さんの中には、法律という専門科目は、自分の専攻分野とは全く関係のないものだと考えている方もおられるかもしれません。しかしながら、一見すると、いかにかけ離れているようにみえても、是非、皆さん自身の専攻分野の知識を活かしつつ、共通点・類似点・相違点は何であろうかと、想像力を働かせながら学ぶことをお勧めします。なぜならば、法律は人間が人間のために定めた法（これを実定法と言います）であり、皆さんの専攻分野も、つまるところ何らかの形で人間の営みに関するものはずだからです。理系分野は違うのではないかという声が聞こえてきそうですが、法律学が優れて論理的な学問だということは耳にしたことがあるはず。決して無縁ではありません。皆さん自身の主専攻分野と有機的に関連させることで相乗効果が生まれるのではないかと、ということ、我々は密かに期待しています。

履全
修学
ガ副
イ専
ド攻